

未来の長浜市を創造するまちづくり委員会

自然・生活分科会 議事録

日時	平成21年 7月16日(木) 18:00 ~ 19:45		
場所	湖北町役場 1階 1-A会議室		
議題	自然環境の保全・再生について		
出席者	茂森伍朗会長、田中伝造委員、野村俊明委員、大橋香代子委員、伊藤昇太郎委員、横田定文委員、柴田昌彦副会長、浅井憲彦委員、佐藤登士彦委員、山口正之委員		
市	分科会事務局 環境保全課 若林 中川		
6町	湖北町環境整備課職員、		
傍聴者	あり(3人)・なし	報道機関	あり(新聞社)・なし

【協議結果】

- ① 自然環境の保全再生について

- ② 次回日程とテーマ
 - ・ 次回日程 8月27日(木) 18:00~20:00
 - ・ 次回開催場所 「木ノ本町役場」
 - ・ 次回テーマ「前回までの課題に対する提言・提案の取りまとめ」

- ③ その他
 - ◎市の他の所管課への要請等(分科会事務局対応)

 - ◎6町への要請等(企画調整課対応)
 - 木ノ本町役場会議室を予約

主な意見	要点列記
会 長	<p>前回の申し合わせの要に5回の会議を持ってまとめる</p> <p>今回は、前回の提案されたことについて、どのように進めるかがテーマであり、今日は具体的なところまで入れた上で、4回でまとめ、5回で結論をしていきたい。問題点をどのように提言提案していくかを検討していかなければならない。</p> <p>地域の中で、問題点等にたいして各町の特徴ある取り組みなどのご意見をお願いします。</p>
A委員	<p>木之本の杉野であじさいの町づくりがあります。</p> <p>303号線で本年度に植えて、来年には花が咲きます。</p>
B委員	<p>ホテルまつり、時遊館を拠点にホテル観察会の実施</p> <p>6月第3日曜日に河川環境普請の日として川をきれいにしています</p> <p>里山事業として虎御前山を拠点に竹林事業として好きな女性の会として春に清掃、竹のことり、秋は清掃キノコごはんなど取り組んでいます</p> <p>町全体での河川清掃 中野区としてホテルまつりの取り組みをしている</p> <p>竹藪の管理伐採も管理の人経費などが課題です。</p>
会 長	<p>竹を生かした地域づくりとして特徴をいかした事業として町づくりですね</p> <p>里山などの環境問題については</p>
B委員	<p>平成12年から取り組んでいます。竹藪の整備も実施</p> <p>関心をもってもらうことが大事です</p>
C委員	<p>長浜市のホームページから引用して環境保全事業の概要説明</p>
D委員	<p>湖北町もバイオマス構想をもっています</p> <p>循環型の対応を考えています。</p>
	<p>米国のゴアさんのCO2の削減をうたったDVDを一度見て下さい</p> <p>今後の地球の姿がよくわかります。</p> <p>CO2 15%削減として少エネルギーの買いましょう、低燃費を使いましょう</p> <p>湖北の地域で15%削減はどのようにすればいいのでしょうか</p>
会 長	<p>CO2の削減の取り組みの提案ですね</p>
A委員	<p>テレビなどで説明されているがよくわからない、具体的な数値をだしてもらおうとわかりやすい</p>
会 長 C委員	<p>工場、家庭でどれだけ削減できるのだろうか、湖北の地域で</p> <p>電気は消す、買い物は自転車、冷房は風など自分たちできるものはたくさんあると思います</p>
会 長	<p>地域をいかしたCO2 15%削減の発信をできるとよい</p>
A委員	<p>将来に向かっての取り組みを</p>
会 長	<p>投資してくれる企業もあれば、先陣をきれることも</p>
E委員	<p>大きすぎてピントが合わないか、家庭の電気水道費を毎月管理すればできるのではないかと、少ない数値ができれば結果もでる</p>
D委員	<p>取り組みが大事</p>
E委員	<p>長く続くとよいが</p>
E委員	<p>いくつもあげても決定がでない、問題点の解決をどのようにつめていくのか</p>
会 長	<p>出てきましたので、取り組みの進め方を検討していく</p>
F委員	<p>余呉町で千本桜事業を進めている、2～3年計画で、1/4が進んでいる</p>

株主として1本10,000円で1000本~目指している
赤子山から丹生地区まで

D委員 新たな観光名称となる期待できる

F委員 水源の里としてまちづくりを進めており、荒廃地の水田の開拓により無農薬の米として販売しているが、数量的に少なく利益としてはまだまだ

会 長 地域の過疎化を防ぐため、ここに住みたい町につくりあげることが一番

会 長 提案されている大橋さんの内容をどのようにとりあげるのか

C委員 山、川、びわ湖がある中で里山保全事業として、地域を指定してしまうと守っていくのが大変、予算も見てもらえない

会 長 里山事業の中に入れる

C委員 山林、山並み、の環境保全があります。

B委員 河川の緑地帯の活用も

C委員 河川の緑地帯も自然も守る必要もあります

B委員 自然公園化も考えられるが河川の氾濫などから地域では無理な所もある

D委員 グリーンコンシューマについて資料にて説明される

C委員 長浜市にもあります

廃油を回収して愛東町に持って行っているが、量的に無理が生じる

会 長 3つ提案がありました。わかりやすい提案を

C委員 廃油でも、過去は引き取ってくれたのに今は、金を出さないと、引き取ってもらえない

会 長 需要と供給のバランスがとれていない

E委員 地域づくりとして廃油でトラクター燃料につかっているが
配合調整に難点が生じている

C委員 廃油の精製工場に2000万いると言われている

E委員 油の値が上がると損をする

C委員 冬は発火点が低いから使えない

3年間検討したが無理、20%の税金もかかる
植物燃料はだめ、環境に対して、資材の価格が高くなる

G委員 新潟では、農協の支援でワラから燃料を起こした

D委員 地域のエネルギーの活用は

C委員 テレビの影響か振動で起こせるエネルギー

D委員 風力発電は

F委員 関電での計画があったが50基の計画されていたが送電の計画事業費から採算がとれないと聞いている

会 長 どのように取り組んで点につながるのか

A委員 みんなの相違を、数点を上げ、まとめあげてはどうか

会 長 地域性を出して

C委員 田にコスモスは自然か
自然地域に開発を求めない

G委員 コスモスは減反施策として、農地保全対策として

A委員 これは、自然に反するものは、地域になじむもので

会 長 まとめ方として、上げられた物を全体、個別にわけることによって特長あるものに限定していく。

	できるだけ砕いて記に方向性を
	自然を守る区域で植えるものはおかしい
	まちづくりをめざす立場から、ジャングルを分けて
C委員	座禅草の保全をとり入れる
会 長	湖北ではどこでも守っている。
C委員	ホテルを含め地域を公表しない。カメラマンの意見。公表すると、環境変わってしまう
A委員	自然豊かな心豊かなを地域のスローガンとして
	自然を生かす町づくりを
H委員	北のイメージとして、過疎、不便がある
会 長	スポット的に守る。まるごと保全しては水のきれいなところは住みにくい。
C委員	水のきれいなところは住みにくい。環境保全から
D委員	山が泣いている、たすけて、松虫にやられています
C委員	広葉樹が水を保てない
会 長	杉50年、ヒノキ80年で 水をすわない
F委員	針葉樹は冬に弱く葉が多い
A委員	葉の区域しか根が張らない。
C委員	山が水をつくるから木を植えることが大事です
A委員	松も一本残して松食い虫の対応として
D委員	山もビジネスにならなければ
会 長	山も地権者が多く行政も入れない
H委員	個人の山、荒廃してもさわれない。
C委員	命の水を守る会で八丈山で木を植え運動に取り組んでいます
D委員	名前を苗木に人が植樹していく取り組みは
C委員	ボランティア活動・植林場所の確保が必要
会 長	場所、整備、資金などが必要です
D委員	山に実がなければ、動物も困っている。山を守るアイデアとしてなにか提案
会 長	提案として、具体的に
E委員	あれた山に桜を1人で植え、感動した人たちにつぎつぎ伝わり桜並木が家族
会 長	などによって守られ植樹されていく
	横山に、四季によって樹木の花が咲かせては、荒れ地に人が入り活動することにより、新たな人も訪れる。そのための手段が桜
D委員	最初のとっかかりを大きくしなくても、山を守るテーマから小さくても取り入れては
A委員	防護策があり、かつてに山に入れない、逆にネックになり人も山に扱われている
	今は自然に入れない人間が被害者か動物が被害者か山が被害か
D委員	ハイキング道を設定しては、人が入れればきれいになる
C委員	
F委員	人との共存を
会 長	共存をどうするのか
C委員	湖北町はトンビが有名 虎御前山は鳥の飛来が多い
D委員	森林の保全、里山再生の議論が提言・提案になる良い議論をされています。

C委員	虎御前山は鳥の飛来が多い
A委員	河川を含めて検討しては
G委員	自然を守るのか、開発を守るのか、環境を守るのか
C委員	町づくりとして花を植えては
会 長	テーマで全体と部分的として検討しては
A委員	里山の再生 提言として、テーマを
会 長	一つのテーマが出来た、どういうふうにするのか
D委員	自分にも大事にせなどの考えが強く認識がある
会 長	自然に対するテーマとして
	この地に住みたい展開を、荒地の開発も含めて
F委員	住みよい町づくりから、無農薬、有機米などの推進を
会 長	次回のテーマとして
A委員	どれをとるのか
会 長	全体、地域ごとに
E委員	どこでも、やっていないものの取組を
会 長	まとめをどのようにするのか
F委員	全体会の意見も取り入れては
E委員	森林の保全対策として検討を
A委員	情報を取り入れて行なう
会 長	まとめる方向で次回は開催する。
	次回の開催日を8月27日(木)午後6時木之本町役場で
	(午後8時 散会)